

第39回企業短観調査 (2022年4月) 実績分

調査結果

考察

(1) 回収状況

業種	対象事業所数	有効回答数 (回収率)
卸売業	39	6 (15.4%)
建設業	252	6 (2.4%)
小売業	476	15 (3.2%)
サービス業	411	13 (3.2%)
製造業	117	5 (4.3%)
全業種	1,295	45 (3.5%)

売上状況と収益状況については、実績及び今後の見通しで、前回調査と比べると、売上状況、収益状況、資金繰りは、建設業を主として「増加する」の割合が増えており、徐々に景況は回復傾向にあると伺える。人手についても、製造業を主として前回よりも「不足」の割合が減少しており、人出不足が徐々に解消していると思われる。

まん延防止措置解除に伴い、県外から徐々に客足は回復傾向にあるが、原材料の高騰や部品調達難が続いており、特に原油高による経費の影響が大きく、今後に不安を抱く事業者も多い。新型コロナウイルスも高止まりなど以前不安な状況である。

